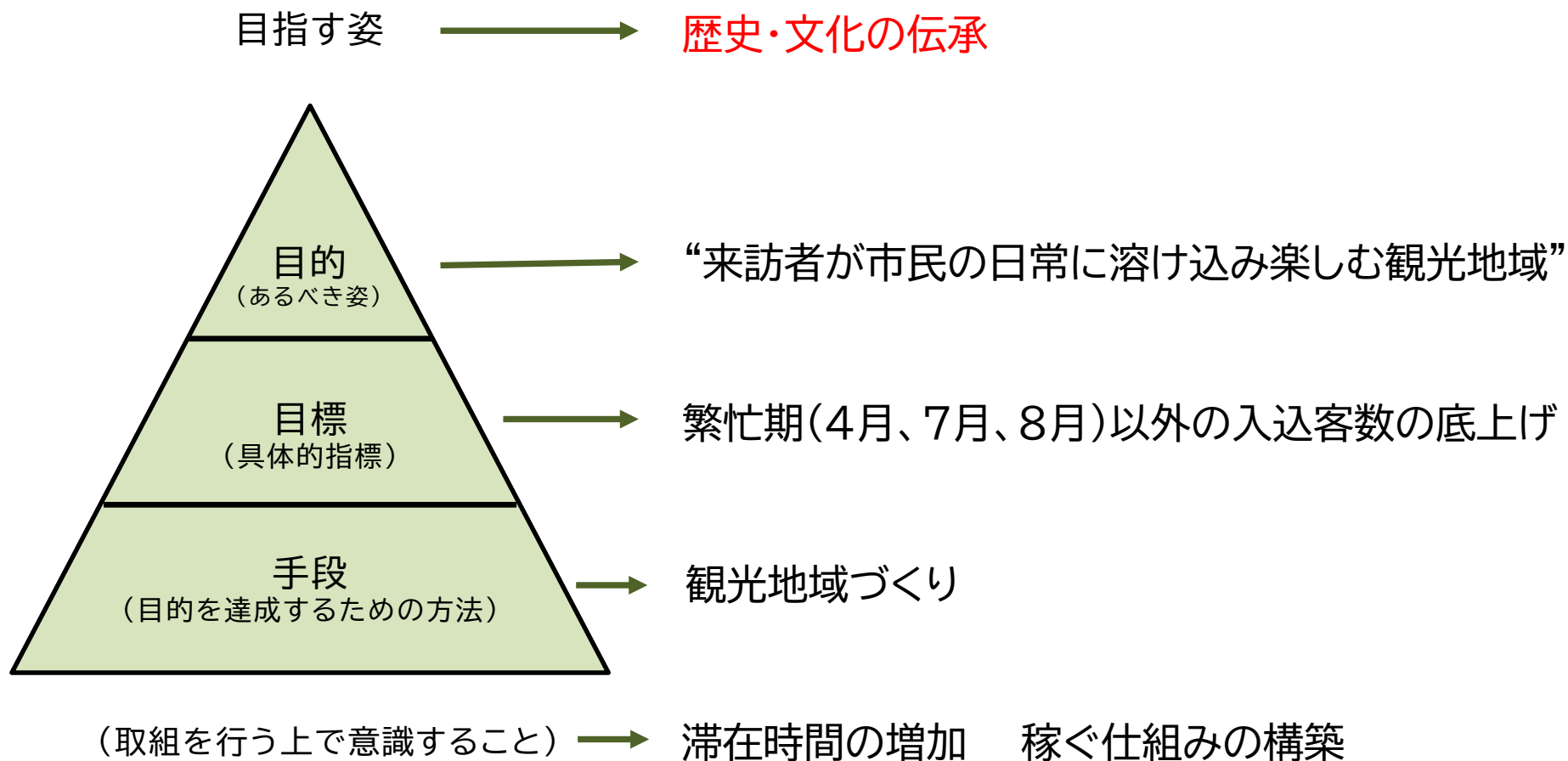


## 第3章 通年観光の基本方針

---

# 1 基本方針

---



## 【上越市を取り巻く厳しい地域環境(地域課題)】

人口減少  
高齢化

経済規模  
の縮小

地域・市街地  
の活力の低下

空き家の増加  
街並みの喪失

若者の流出

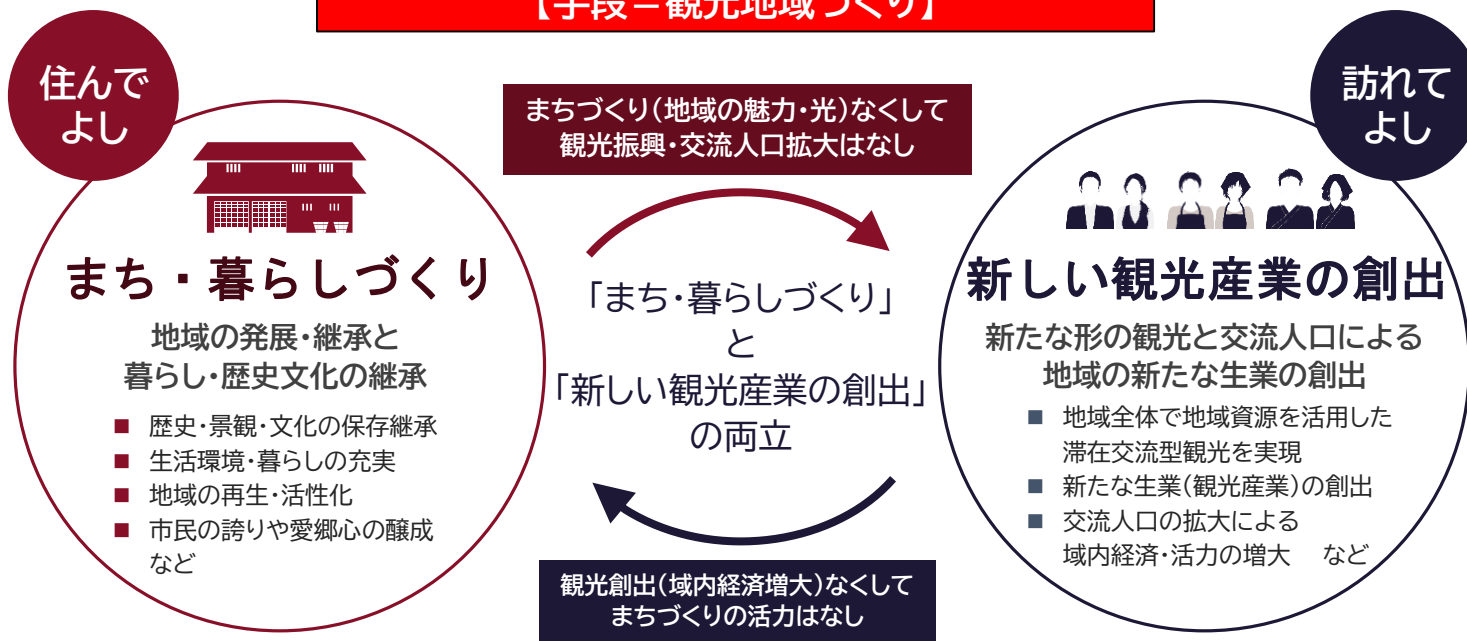
地域産業  
の衰退

歴史文化の  
伝承の危機

地域文化の理解や  
誇りの伝承危機

地域課題解決のための地域づくりの取組

## 【手段＝観光地域づくり】



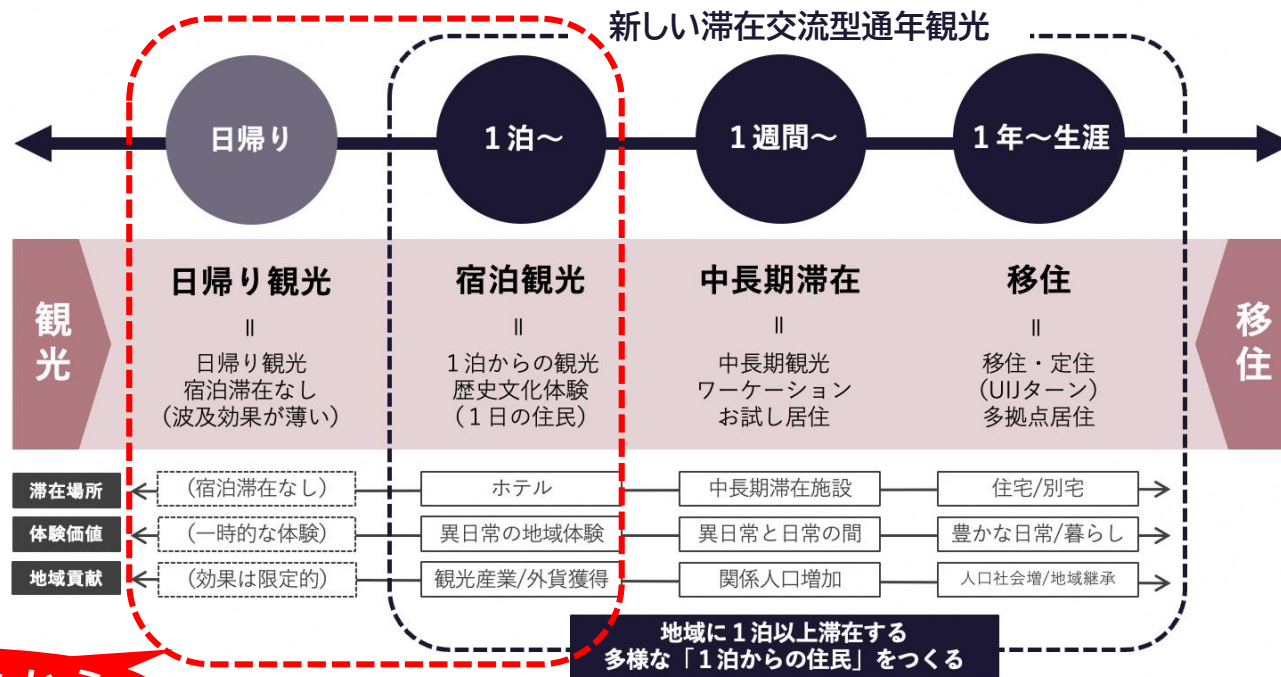
### ●観光に取り組む意義

地域資源をいかした、地域全体で取り組む滞在交流型通年観光を生業として創出することで、地域課題の解決を目指す。

### ●実現に向けて必要な取組

- ①他の地域と差別化でき、地域外からの魅力となる地域らしさ(誇るべきDNA)の明確化と戦略づくり
- ②生業となる観光コンテンツ・商品の創出と地域づくり・マネジメント体制の確立

「一泊から一生涯までの住民を」観光から移住まで多様な滞在と関係人口をつくり  
地域に生業(産業)を生み出し持続可能な地域を実現する



まずはここから

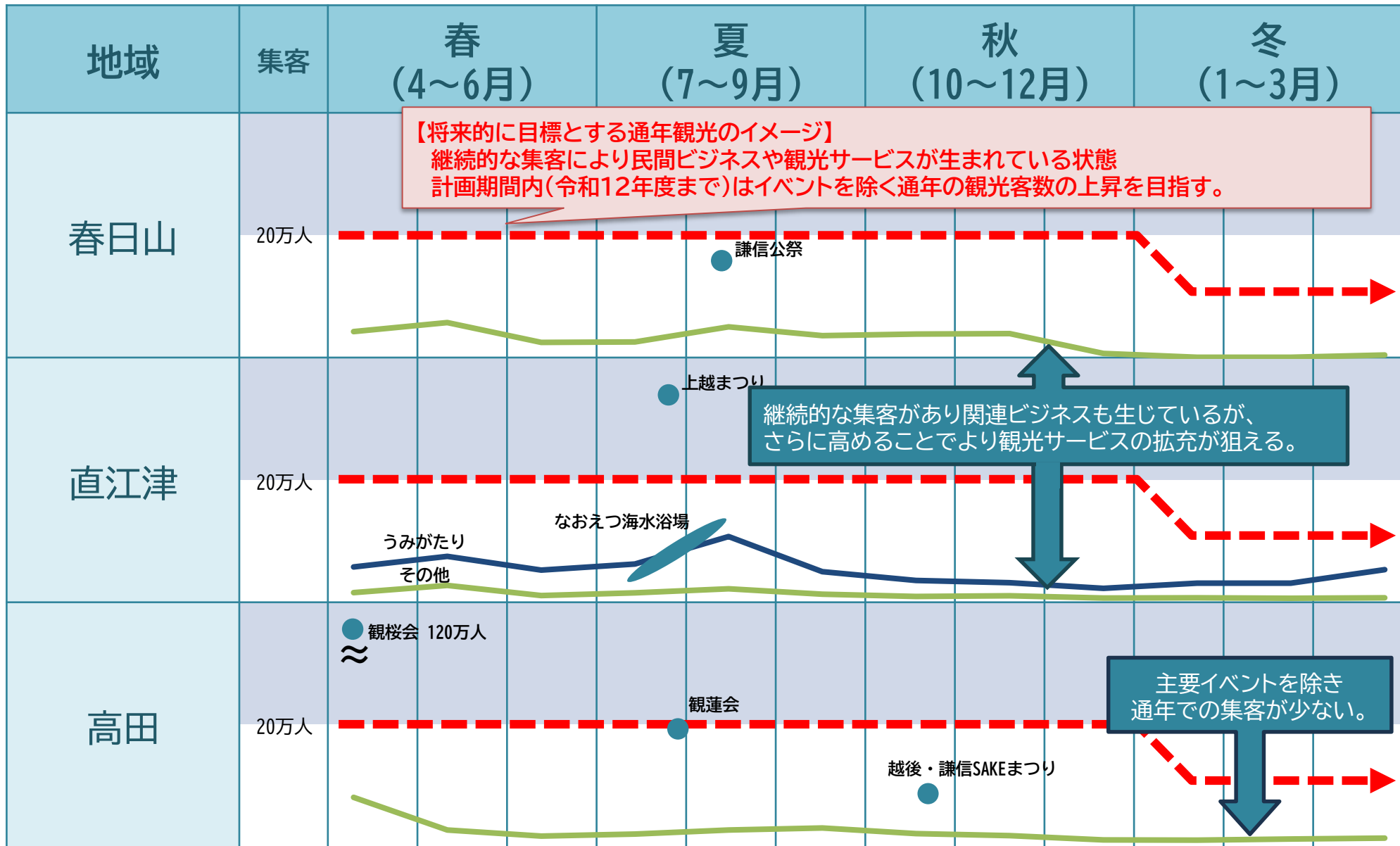
## 交流人口 → 1日からの住民をまちに迎える

例えば:1日の住民(1泊の観光客)が365人空き家に滞在したら空き家に毎日明かりが灯る。

1日からの住民がいることで、スーパーや魅力的な店舗が復活する。

1日からの住民がいることで、商売が成り立つ、仕事が増える、交通が維持できる。など…

# ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客を目指す



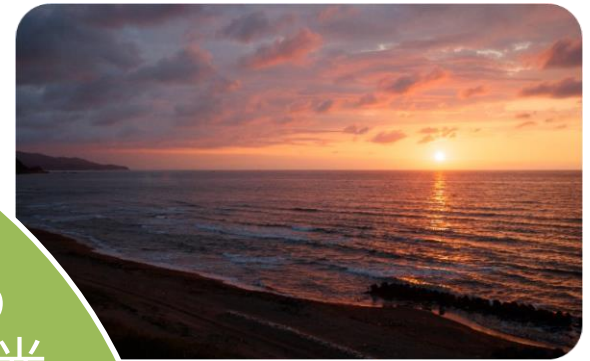
出所:新潟県観光入込客統計調査の共通基準を満たす市内の観光地点及びイベントを集計(令和元年)  
 ※上越まつりは、直江津地域に一括計上

次の4つを組み合わせるとともに、その効果が地域全体に及ぶよう取り組む。



市民や市外の人がある価値を認め、足を運んでいただき、経済効果を得ることで、将来にわたり「歴史文化」を守り育てていく。

① 上越市の  
歴史文化の  
「価値化」



② 3地域の  
集中的な観光  
地域づくり

「歴史文化」をいかした観光地域づくりと観光消費額アップに3地域(春日山・直江津・高田)で集中的に取り組む。魅力を底上げし、「滞在時間、立寄り場所、宿泊」を強化する。

持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)を目指す

ニーズに対するコンテンツ不足を「上越市+広域」でカバーし、通年観光化を目指す。文化観光を産業に育て、「歴史文化」を守り育てる原資としつつ、市民が「歴史文化」の価値を認識し、受け継がれる状態に近づく。

④ 上越市  
+ 広域で  
集客・発信



③ 3地域から  
13区等への  
波及

3地域への集客を他地域へ誘導する。「3+他地域」で商品化、発信、販売することにより、13区等への波及効果を生み出す。



○ 上越市は、越後の都の変遷の歴史から、春日山、直江津、高田の3つの特徴的なまちが隣接しており、それぞれのまちに多様な景観とともに人々の暮らしや心意気がある。新幹線や高速道路などの交通アクセスも良好である。

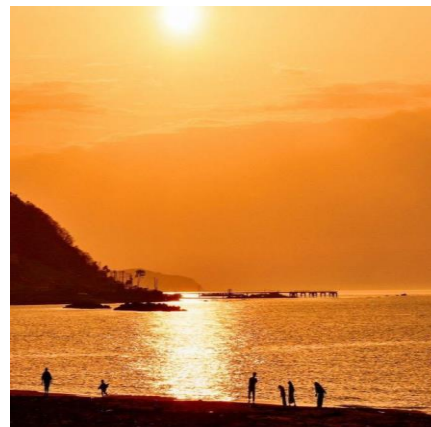
## ① 越後の都の歴史文化豊かな3つの特徴的なまち

- ・上杉謙信公の居城・春日山城跡の「春日山」、国府や福島城が置かれ交通や物流の要衝として栄えたうみまち「直江津」、雁木の街並みと桜の高田城址が特徴の城下町「高田」と、越後の都の変遷の長い歴史を表す特徴的な3つの歴史的地域が同じ自治体内で隣接して立地し、それぞれ固有の歴史文化を残していることは、他地域にはない特徴である。
- ・3つの特徴的なまちは、越後の都としての変遷や時を経て醸成してきた歴史文化をそれぞれに感じることができ「新しい観光産業」においても魅力的な要因である。



## ② 3つのまちに息づく人々の暮らしと心意気

- ・3つのまちには、山城・うみまち・城下町の歴史的背景に基づいた人々の暮らしが息づいており、その心意気や精神性(義・人情・共助)もそれぞれに醸成されている。
- ・それらは「新しい観光産業」においても魅力的な要因である。



## ③ 個性豊かで多様な景観と交通アクセス

- ・地域内は日本有数の豪雪地帯であるとともに、周辺エリアも含め海から山まで多様な景観を有している。
- ・北陸新幹線や高速道路など、関東・関西どちらからもアクセスできる良好なインフラが整っている。



# 観光地域づくりのコンセプト

特徴・強み	課題	地域・市場環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 越後の都の3つの特徴的なまち ・春日山、直江津、高田と、越後の都の変遷を表す特徴的な3つの歴史的エリアが隣接して立地し、それぞれの文化を残している点は特徴的である。</li> <li>・3つの特徴的なまちは、越後の都としての変遷や時を経て醸成してきた文化をそれぞれに感じることができ「新しい観光産業」においても魅力的要因である。</li> <li>● 人々の暮らしと心意気 ・3つのまちには、山城・うみまち・城下町の歴史的背景に基づいた人々の暮らしが息づいており、その心意気や精神性(義・人情・共助)もそれぞれに醸成されている。</li> <li>・それらは「新しい観光産業」においても魅力的な要因である。</li> <li>● 多様な景観と交通アクセス ・日本有数の豪雪地帯と多様な景観 ・関東・関西からの恵まれた交通アクセス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史ある風景、建物、文化の消失 ・地域衰退や時代の流れにより、地域の特徴的で貴重な風景、建物、歴史文化などが消失しつつある。</li> <li>● 繁華街としての機能の衰退 ・地方都市や中心市街地の衰退により、繁華街としての魅力や活力が失われている。</li> <li>● 通年の滞在交流型観光、交流人口の不足 ・観光の目的となる特徴的なテーマやコンテンツの不足 ・イベント、季節型観光中心の偏った観光となっており、通年の滞在交流型観光と、それを実現する仕組みが不足している。</li> <li>・人口減少や高齢化の中における多様な交流人口の確保 ・観光地域づくりの推進体制と、マネジメント体制の不足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 疲弊する地方都市 ・人口減少、高齢化が進んでおり、それに伴い、空き家が増加している。</li> <li>・地方都市や中心市街地が衰退しており、商業や工業等の既存産業以外の新しい生業づくりが必要</li> <li>● 外国人観光市場とコロナ収束後 ・国内市場はコロナ禍によって国内旅行へ回帰 ・コロナ禍前は外国人観光客数は伸び率が急増し滞在日数、消費額も大きく、歴史体験が人気 ・コロナ収束後、スタイルは変わるが、観光は歴史ある地方部の重要な成長産業</li> <li>● 観光の概念の変革 ・観光地を巡る観光から、豊かな地域の文化や暮らしを感じる「住んでよし、訪れてよし」の滞在交流型観光が魅力となっている。</li> </ul>

<全体:観光地域づくりコンセプト>

## 越後の都 誇れる上越の3つの暮らしと心意気

— 春日山・直江津・高田の多様な3つの暮らしと心意気を誇りを持って示す滞在交流型観光地域づくり —

山城・うみまち・城下町、越後の都の変遷が生んだ3つのまちが隣接して歴史文化をつないでいる上越市  
その特徴的で多様な歴史文化が、現代にも脈々と息づいています。

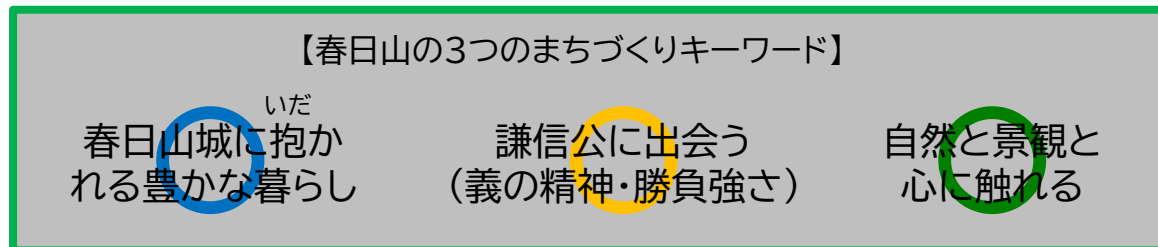
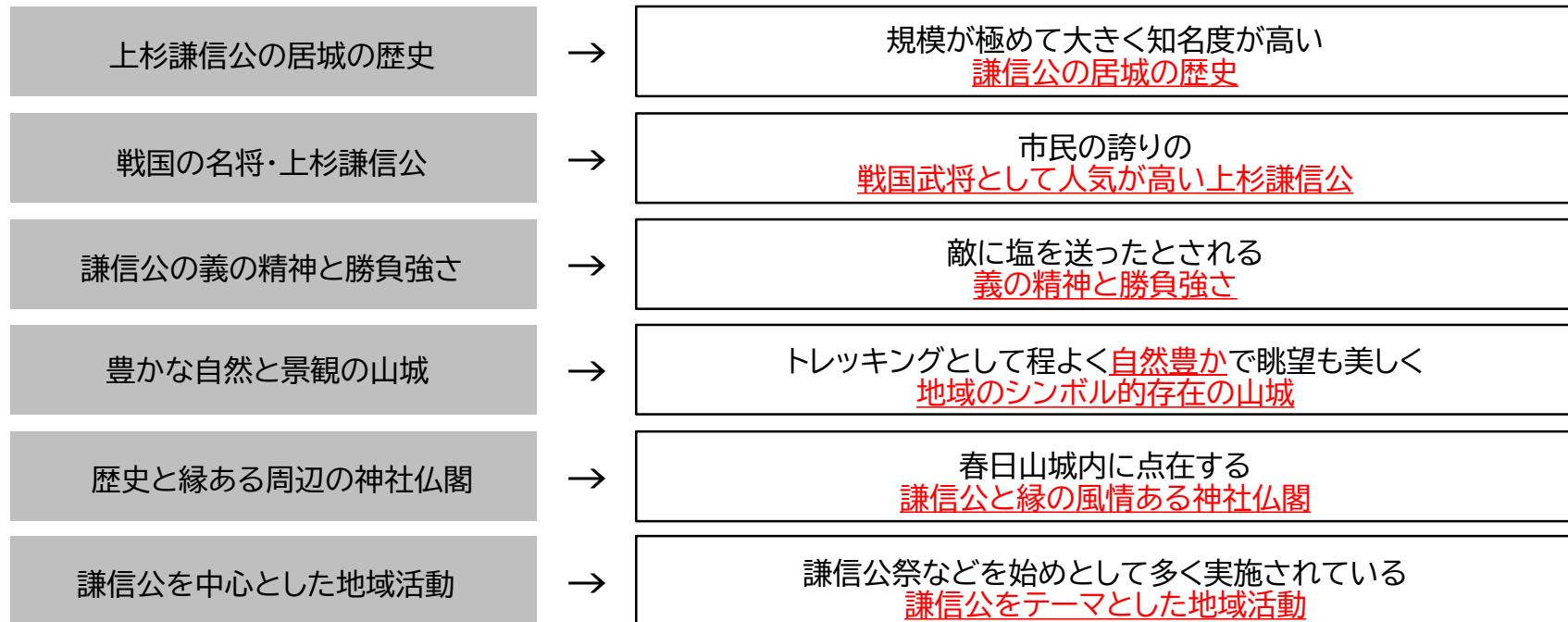
3つのまちの暮らしや歴史文化と心意気を感じて巡る「滞在交流型観光地域づくり」による新たな生業をつくる。

越後の都の3つの物語を紡ぎ、誇りある上越を次世代につなぎます。

## 2 春日山地域の方向性

---

- 春日山地域のポテンシャルから導き出されるまちづくりキーワードを3つ設定した。
- この3つのキーワードを春日山のまちづくりの本質(地域のDNA)として、今後のコンセプトや計画を検討する。



## まちづくりキーワード(地域のDNA)

春日山城に抱かれる  
豊かな暮らし

謙信公に出会う  
(義の精神・勝負強さ)

自然と景観と  
心に触れる

## 地域ポテンシャル

- 上杉謙信公の居城の歴史
- 戦国の名将・上杉謙信公
- 謙信公の義の精神と勝負強さ
- 豊かな自然と景観の山城
- 歴史と縁ある周辺の神社仏閣
- 謙信公を中心とした地域活動

## 地域課題

- 全域での課題
  - ・地域文化の理解や誇りの喪失
  - ・人口減少と高齢化・若者の流出
  - ・地域経済規模の縮小(地域の活力の衰退・都市機能の低下)
  - ・地域の生業・仕事の不足
- 春日山での課題
  - ・春日山城の保全と活用
  - ・交通アクセス、駐車場などの観光動線の改善
  - ・歴史を伝えるガイダンス施設やガイドプログラムの充実
  - ・現状の観光施設の魅力化
  - ・まちづくり推進体制の強化

## 検討の方向性

- ① 「新しい観光産業」を春日山の次世代の活力をつくる「新たな地域産業(生業)」として捉えて育てる。
- ② 地域のDNAである「まちづくりキーワード」を基本とした戦略・コンセプトとする。
- ③ 豊かな春日山の実現に向けて、まちづくりキーワードを尊重しながらまちづくりを進め未来につなぐ。
- ④ まちづくりと共に新たな観光産業づくり施策を実施し、滞在交流型観光地域づくりの礎をつくる。

<春日山地域：観光地域づくりコンセプト>

## 義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」

- 春日山の豊かな自然や景観に抱かれて義の心や強さに触れる「謙信公の春日山城」-

||

戦国の名将・上杉謙信公が居城としたことで有名な春日山城  
謙信公も春日山城も、上越の人々にとってシンボリックな存在です。

春日山の豊かな自然や景観に抱かれて  
謙信公が生きていた時に思いを馳せ、義の心や強さに出会う。  
いつの時代も生きる上で大切なものを学ぶ「謙信公の春日山城」を目指します。

<春日山地域：観光地域づくりコンセプト>

## 義の心と強さに出会う「謙信公の春日山城」

- 春日山の豊かな自然や景観に抱かれて義の心や強さに触れる「謙信公の春日山城」-

目指すまちと暮らしの姿  
(まち・暮らしづくり：住んでよし)

春日山城の景観や歴史文化、謙信公の教えを誇りに、  
その心や強さに出会う  
春日山に抱かれた「謙信公の春日山城」の暮らし

- ・誇りある春日山城の歴史文化を次世代に継承する
- ・春日山の豊かな自然や景観に抱かれて、謙信公の義の精神や強さに触れながら生きる、豊かな暮らしを目指す

地域の観光と生業の姿  
(新しい観光産業の創出：訪れてよし)

春日山が目指す「謙信公の春日山城」の  
歴史文化、暮らし、精神を感じて滞在・消費する  
高付加価値な滞在交流型観光

- ・観光客が「謙信公の春日山」に価値を感じ、生業や滞在時間の増加につながる観光サービスや体験プログラムの検討
- ・1日からの住民として「謙信公の聖地」を体験できる春日山城の整備を目指す
- ・実施体制の確立

### 実現のためのステップ

- ① 地域のDNAと観光地域づくりコンセプトの市民共有・理解
- ② 目指すべき「謙信公の春日山城」実現に向けた具体的な施策・整備計画の検討
- ③ 計画を実現する推進体制・スキームの構築



春日山の情報や謙信公の歴史が学べる  
ガイダンスや飲食・物販等の拠点施設



植林された杉の伐採



総構の復元



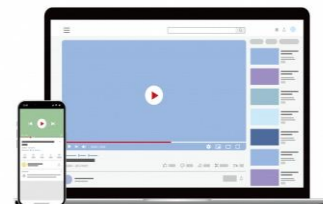
春日山城の遺構を活用した  
景観づくり



戦国武将気分を体験できる  
プログラム



移動を楽しむ  
域内交通



観光情報を気軽に得られる  
観光案内サイト



域内を自由に走り回れる  
レンタサイクル



春日山を美しく望む  
街路の整備



歴史ある春日山で楽しむ  
アウトドアピクニック



雪の春日山を楽しむ  
体験プログラム



春日山の歴史や文化を学ぶ  
地域ガイド

- 山全体が手入れされた整然さを持ち、「城」の風格を創出していく。

## 七尾城跡(石川県七尾市)



出典:七尾市ホームページ

※春日山城は石垣無し



出典:七尾市ホームページ



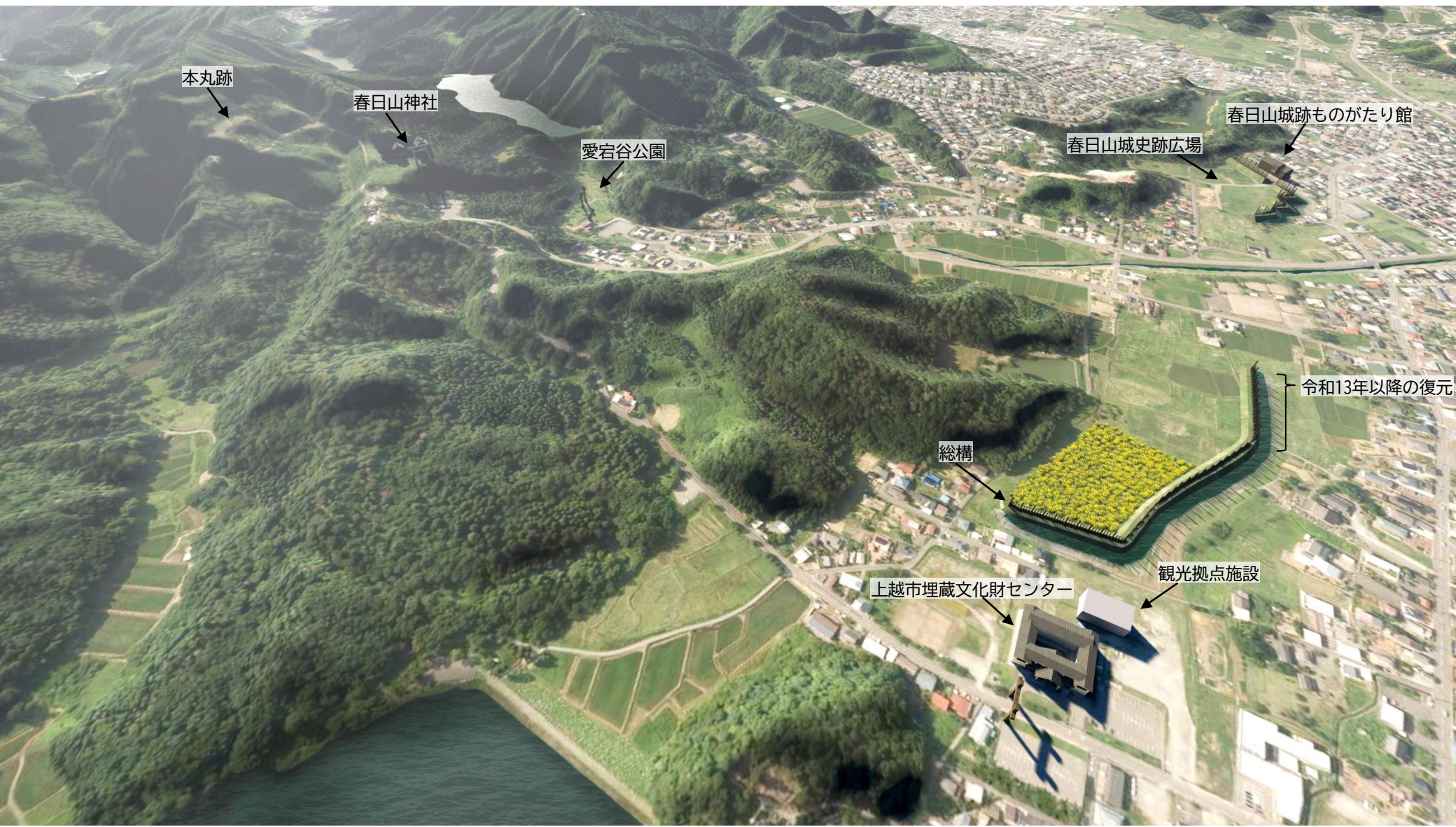
出典:七尾市ホームページ

## 山中城跡公園(静岡県三島市)



出典:三島市観光WEB





「国土地理院地図」(国土地理院) (<https://maps.gsi.go.jp/#16/37.146053/138.216290/&base=ort&ls=ort&disp=1&vs=c1g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f1>)を基に作成